

みぬま見聞館だより No. 71

令和6年3月1日発行

【“ヌウ” & 見聞館キャラクター“クリンちゃん”より】

令和6年1月1日に「令和6年能登半島地震」が発生し、自然の驚異を見せつけられました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

庭園は、雨不足による乾燥と暖冬が続いておりましたが立春を過ぎた2月5日にかんりの積雪がありました。庭園で最初に花を咲かせるサンシュユの蕾が徐々に膨らみ始め、春を迎える準備が進んでおります。

隣を流れる芝川では、ダイサギ、カワウが遡上する魚の群れの移動に従ってたくさん集まりエサ採りに夢中です。

また、今年もオオバンが放流口に70羽近く集まってきました。この様子を見ていると準絶滅危惧1類に分類されていることが不思議のようです。



集まって
草をついばむオオバン



アカハライモリのオスの色が変わった！



上の写真（写真①）は、アカハライモリのオスです。（写真②）は、左がオス、右がメスです。オスは頭と尻尾の色が変わっています。飼育してはじめて気づいたときは、頭の色が変わってきたので、病気？とおもっていましたが。調べてみるとオスは春になると色を変化させメスに求愛するそうです。今年は卵から何匹のアカハライモリが孵るか楽しみです。（写真③）は卵、（写真④）は少し成長した子供の写真です。

アカハライモリは、「埼玉県のレッドデータブック動物編2018」では絶滅危惧1A類に分類される希少種です。

ダイサギが7羽集合



おみやなん じょうか となり なが しばわ さかな そしょう ともな あつ
 大宮南部浄化センターの隣を流れる芝川に、魚の遡上に伴いダイサギが集まってきま
 した。ダイサギは全身が白く、嘴が黄色で魚やザリガニ小さなカメも食べます。全長が
 約1m くらい 翼を広げると1m70cm くらい あるサギの中でもとても大きなサギです。
 さかな そしょう ともな たち しょうりゅう いどう へ
 魚の遡上に伴いサギ達も上流へ移動して行きました。

秋の自然観察・環境学習会を行いました



写真①



写真②



写真③

がつ にち にちようび あき しぜんかんさつ かんきょうがくしゅうかい ねじつ とうじつ くみ
 11月26日(日曜日)に秋の自然観察・環境学習会を行いました。当日は、8組1
 9名の参加があり、「さいたま市環境教育ネットワーク」パートナーのAGS株式会社の職員
 6名を講師に迎え①再生可能エネルギーについて勉強及び②環境に配慮した「ソーラー
 ミニカー工作」を行いました。次に、③見聞館2階で双眼鏡の取り扱いについて学び、
 やちようかんさつ おこな あき しぜんていえん で い けんぶんかん かい そうがんきょう と あつか まな
 野鳥観察を行い、秋の自然庭園に出て「生きものの観察及び写真撮影」と併せて「生き物
 ちょうさ おこな けんしゅうしつ もど こどもたち さつえい ていえん い もの はっぴょうかい
 調査」を行いました。その後、研修室に戻り子供達が撮影した庭園の生き物の発表会を
 おこな
 行いました。

大人のための野鳥観察会を行いました

がつ にち さいたまけんせいたいけいほ ごきょうかい とくにんけんきゅういん いわきこうぞうし こうし むか おとな かた たいしやう
 1月19日、埼玉県生態系保護協会の特任研究員、岩木晃三氏を講師に迎え、大人の方を対象
 に野鳥観察会を行いました。当日は、みぬま見聞館から皇山川排水機場まで芝川の土手上を歩き、
 ほしごいをふくむ24種の野鳥を観察することができました。観察中何度もカワセミに遭遇し、コバレット
 ブルーの綺麗な色を堪能することができました。



未来くるワーク体験が行われました



第二東中学校



木崎中学校

令和5年11月29日～12月1日第二東
 中学校1年生、12月6日～8日木崎中学校2
 年生の未来くるワーク体験を行いました。

それぞれ、みぬま見聞館の開館作業、屋上
 庭園・庭園の整備、庭園のプランターの植え
 替え等を体験しました。

5月22日は国際生物多様性の日です

1992年5月22日に「生物多様性」について国際的な決まり事を決めた日を記念して、
 5月22日は国際生物多様性の日と定められています。

「生物多様性」とは、いろいろな生きものがそれぞれ支えあって生きていることで、私た
 ちの生活にもたくさんの恵みを与えてくれます。たとえば、わたしたちがいま食べている野菜
 も、昆虫が花粉を運ばなければ実をつけることができないものがあります。

さいたま市にも、探してみるとたくさんの生きものがいて、中には希少種も発見されて
 います。現在、市役所でも、市民参加型の「さいたまみんなの生きもの調査（チョウ・ト
 ンボ）」や「市内河川の水生生物調査」を実施し、結果をホームページで公開しています。

生物多様性は急速に失われており、様々な立場から対策をとる必要があります。昨年3
 月に、生物多様性国家戦略が改訂され、2030年までに陸地と海の30%を保護しようと
 する30 by 30の取り組みなどが盛り込まれ、自然を守るための行動がわたしたち一人一人
 にますます求められています。この日をきっかけに、皆さんも身近なところから、生物多様性
 を守る方法を考えてみませんか？

〈さいたま市の取り組みで観察できた生きもの〉



アカシジミ



ミドリシジミ



キイロサナエ



チョウトンボ



ニホンウナギ



マルタ



タコノアシ



ヌマトラノオ

(さいたま市環境局環境共生部環境対策課 柿本記)

保育園で出前講座を行いました

皆さまのところへ職員が伺い、生き物とのふれあい体験など、自然に親しんでもらう出前講座を開設しています。写真は片柳保育園で出前講座を行った時の写真です。その他植水保育園・岸町保育園・大成保育園・白鍬保育園でも出前講座を行いました。講座の内容は相談に応じます。是非ご利用ください。（本年度も多数のご利用をいただきありがとうございました。）



片柳保育園

土曜チャレンジスクールを行いました



① 双眼鏡の説明



② 放流口の鳥を観察



③ 芝川のガイギを観察



④ 合併記念公園で観察

1月27日に土曜チャレンジスクールを行いました。当日はみぬま見聞館から芝川を土手沿いに下り途中で折り返して合併記念公園まで、野鳥観察を行い、約28種類の鳥を見ることができました。

ダイサギが25羽、ゴイサギ、幼鳥のホシゴイ2羽、イソシギ、カワセミもじっくり観察しました。



お知らせ

- 4月21日（日）春の自然観察・環境学習会が行われます。以上を予定していますが、状況に応じて中止や縮小などの場合もありますので、くわしくは市のホームページでご確認ください。

みぬま見聞館・自然庭園の見学について

みぬま見聞館・自然庭園を10名以上で見学または職員の案内を希望される場合は事前にご連絡ください。個人での来館もお待ちしています。

開館時間 9:00~17:00 入館料 無料

休館日 年末年始・毎月第4土曜日

住所 さいたま市見沼区大字上山口新田 508 番地 1

電話番号 048-646-6030 F A X 048-646-6033

※詳しくは、「みぬま見聞館」のホームページをご覧ください。

